

# 聞いている人全員の 心をつかむ発表を！

札幌新川高校放送局 2年

## 内山 佳子 かこ さん

(西当別小学校・西当別中学校卒業)



← 高文連放送コンテスト  
北海道大会の時の写真

今回は、昨年11月に行われた「第44回 高文連放送コンテスト北海道大会」でオーディオメッセージ部門1位・朗読部門3位に輝き、今年夏に行われる全国大会「とうきょう総文2022」への出場を決めた、札幌新川高校2年生の内山佳子さんにお話をお聞きしました。

### 自分の声に自信を持てた

中学時代は陸上部に所属し、3年生の時には幅跳で全道大会に出場。高校でも陸上を続けるつもりでしたが、同じクラスの子に誘われ、放送局を見学しました。その時に聞いた先輩の朗読はまるでプロのようで感動し、憧れを抱きました。私は自分の声にあまり自信がありませんでしたが、朗読がうまくなれば好きになれるかもしれないと思い、入局を決意しました。

放送局には朗読、アナウンス、ラジオやテレビ番組の制作などの活動があり、私は主に朗読とラジオ番組を担当しています。この他にも校内放送や行事の進行など、学校内での活動も多くあります。

### 地元で愛される名店を取材

北海道大会のオーディオメッセージ（ラジオ番組）部門では、地域の話がテーマだったので、地元の人に長年愛されてきた「藤月」というソフトクリーム屋とうげつさん取材しました。藤月さんは昨年9月に惜しまれつつ閉店となってしまったのですが、40年以上に渡る歴史や閉店に至るまでの経緯を5分間のラジオ番組にしました。お母さんと娘さんで切り盛りする小さなお店ですが、作業で忙しいのにも関わらず、私たちの取材に笑顔で対応していただき、お客さんに愛されている理由がわかりました。感動のあまり、取材の帰り道で泣いてしまったのは、今でも思い出に残っています。

### 局長と共につかんだ全国大会

朗読部門は、喜多みどりさんの「弁当屋さんのおもてなし」という作品を題材にしました。札幌を舞台とした作品で、主人公の女性のミステリアスな雰囲気が自分の声とピッタリだと思い、選びまし

た。ラジオ番組の制作で手が回らず、どちらも中途半端で終わりにたくないと思ったので、最初は朗読の出場を見送るつもりでしたが、同級生で朗読もずっと一緒にやってきた局長が「佳子なら絶対できる！」と励ましてくれ、最後までがんばることができました。局長には本当に感謝しています。

### 3年間の集大成として

「とうきょう総文2022」に向けて、ラジオ番組の導入部分を手直しする必要があります。ラジオの冒頭30秒は「黄金の30秒」と呼ばれていて、視聴者の興味を引く重要な部分となります。審査員だけでなく、聞いている人全員の心をつかむ番組にしたいです。

朗読は、コロナでこれまで出場した大会が録音審査だったので、初めて大勢の人前で発表します。緊張するかもしれませんが、今まで経験したことのない一発勝負を楽しみたいです。また、3年生として、私が今まで取り組んできたことのすべてを後輩に伝えられる発表ができればと思います。

info.

- ・学校教育課（役場内・☎ 23 - 2689）
- ・社会教育課（役場内・☎ 22 - 3834）
- ・子ども未来課（ゆとろ内・☎ 23 - 3024）

## 「全国学校給食週間」2022 ～アジアの国々の料理～

毎年1月24日～30日は「全国学校給食週間」。町では毎年この期間に合わせて、普段は食べられない特別メニューを考案しています。今年のテーマは「アジアの国々の料理」！1月27日（木）に提供した**タンツォーメン**は台湾の麺料理で、実際はパクチーなどの香味野菜が入っていますが、小松菜と長ネギで代用して、子どもたちが食べやすいようにアレンジしました。デザート**のマーラーカオ**は黒砂糖のやさしい甘さが特徴の中国風蒸しパンで、しっとり感を出すのに試行錯誤を重ねました。工夫を凝らしたおいしい給食を食べて、子どもたちは元気に育っています！



### 「全国学校給食週間」2022 献立表

主な料理をご紹介します！

1/26（水）  
**三平汁（日本）**

北海道の郷土料理で、魚と根菜の塩汁。道内産のタラを使用しました。

1/24（月）

**スンドゥブチゲ（韓国）**

豆腐やキムチ、野菜、肉などが入った韓国の定番鍋料理。

1/28（金）

**フォー（ベトナム）**

米粉から作られた平たい麺が特徴のベトナムの国民的麺料理。

1/25（火）

**バターチキンカレー（インド）**

バターや牛乳、トマトが入った濃厚でまろやかなインドカレー。

※小学校は1/24（月）・1/25（火）が休校だったため、1/26（水）から3日間のみ提供しました。

### スポーツ推進委員を募集しています

▼活動内容 スポーツに関する実技指導や助言、スポーツイベントの運営・協力など。

▼応募資格 町内に在住または町内の事業所等に勤務する方で、スポーツへの関心・理解および指導者としての能力を有する方。

▼募集人数 12名

▼任期 令和4年5月1日～令和6年4月30日

▼報酬 年額 20,000円

▼応募方法 総合体育館および西当別コミセンに備え付けの応募用紙に必要事項を明記のうえ、提出してください。

▼申込期限 3月31日（木）

▼申込み・問合せ 社会教育課社会教育係（☎ 22 - 3834/FAX 23 - 3114/E-mail: kyoshakail@town.tobetsu.hokkaido.jp）

### 子育て支援センターからのお知らせ

子育てに関する相談を受け付けていますので、ご相談ください。

▼問合せ 子ども未来課子育てサポート係（ゆとろ内・☎ 25 - 2658）

※あそびのひろばの開設状況については、町ホームページ、またはポータルサイトでご確認ください。



### 当別町図書館【児童書】

- ・「こども六法の使い方」山崎 聡一郎
- ・「よるはおやすみ」はっとり さちえ

### 図書館企画展 第16弾 「年間貸出ランキング」！！

図書館で今年人気となった本は？一体どの本が優勝を飾るのでしょうか？本館・分館の人気本ランキングを大発表します！貸し出しも行っていきます。

▼展示期間 3月1日（火）～3月27日（日）まで

▼場所 当別町図書館および西当別分館

▼問合せ 当別町図書館（☎ 23 - 0573）

### 西当別分館【一般書】

- ・「成しとげる力」永守 重信
- ・「米澤屋書店」米澤 穂信

▼問合せ 当別町図書館（☎ 23 - 0573）

# とらべつ

## 歴史余話

20数年前、大学に入学してはじめてパソコンに触れた。情報通信技術がおおきく進展し、現在では、幼児の息子でさえスマートフォンに日々触れるような時代になった。いまや、小学生から体系的にデータの活用や統計学の基本的な学びをスタートさせる。これは収集したデータを統計解析の手法やプログラミングなどを駆使して分析し、世の中のさまざまな課題を解決するような人財、データサイエンティストの養成が求められているためである。

ところで、このデータ分析の教育のための素材の一つとして、SSDSE(教育用標準データセット)が独立行政法人統計センターによって公表されている。それを用いて、当別町の一つの側面を見てみることにしよう。

まず、経済の基盤となる人口を確認する。2015年の当別町の人口は1.7万人、これは石狩振興局全体の0.7%である。15歳未満の人口については1,500人(振興局比:0.6%)。15歳から64歳の人口、いわゆる生産年齢人口は、1万人(同0.7%)となる。さらに、65歳以上の人口では、5,200人(同0.9%)。ちなみに、75歳以上の人口を見ると、2,600人(同0.9%)となる。当別町の人口1.7万人のうち、年少人口が9%、生産年齢人口が61%、老年人口が30%で、超高齢社会であることだけでなく、当別町が生産年齢人口2人で65歳以上の1人を支えることも確認できる。

つぎに当別町の産業構造はどうか。産業構造をみる場合、付加価値ベースの統計(国内総生産:GDP)を用

### 第15回 データから見た当別町

札幌大学地域共創学群講師

平井 貴幸

いるのが一般的であるが、SSDSEには掲載されていないため、2014年の事業所数と就業者数を用いることにする。第1次産業の事業所数は、当別町は51で石狩振興局全体の16%を占める。また第2次産業では、87(振興局比:0.8%)、そして第3次産業では、521(同0.7%)となる。

さらに、第1次産業の就業者数は、当別町で1,300人(同11%)。第2次産業は、1,500人(同1.0%)。そして第3次産業では、5,200人(同0.7%)となる。

当別町の事業所数計659のうち、第1次産業が7.7%、第2次産業が13.2%、第3次産業が79.1%。また、就業者数計7,978人のうち、第1次産業が15.8%、第2次産業が18.8%、第3次産業が65.4%であるから、石狩振興局内での当別町の第1次産業の重要度は高いといえよう。このほかにも、出生数や転入・転出者数、歳入・歳出額や外国人人口なども収められており、それらを組み合わせた別の分析も可能であるが、紹介にとどめることにしたい。

統計がすべてであり、それを駆使できなければいけない、などとは思わない。ただ、たしかに数値を整理すると理解が深まることも多いし、課題がどこにあり、それを解決するためにはどうすべきかを議論するときにも有用であろう。『新当別町史』の編さんにあたって、このような観点から、さまざまなデータをもとに、当別町の歴史の一部を整理していきたいと改めておもう。